

大村市に残されている武家屋敷街の石垣の調査と画像データベースの作成

長崎大学工学部 学生員 ○前川裕之

長崎大学工学部 フェロー 岡林隆敏

長崎大学大学院 学生員 北村潤一

1. はじめに

長崎県大村市の武家屋敷街は、江戸時代の玖島城築城とともに形成され、市内の史跡の中でも歴史的景観をなし、大村市の象徴ともなっている。しかし、現在では、当時の武家屋敷の建物がほとんど残っておらず、武家屋敷街の面影を残すのは主として石垣である。その石垣においても、街の開発等で姿を消しつつあるのが現状である。そこで、著者らは大村市武家屋敷街の維持・管理のために、武家屋敷街未調査地区を対象として石垣の分布状況や、その長さ・高さ・表面積の計測などの基礎調査を行い、調査結果と写真より構成される画像データベースを作成した。

2. 大村武家屋敷街石垣調査

大村市では、江戸時代には、玖島城の築城とともに、大村家の親族や主な家臣達に対して城下に屋敷地が割り当てられていた。それが武家屋敷街の形成である⁽¹⁾。当時の通りの多くは現在の通りとして残っており、古い歴史のある大村市にとって、市内に現存する史跡の中でも武家屋敷街は特に象徴的なものである。歴史的景観地区である武家屋敷街は、歴史的に価値がある石垣が数多く残っているが、現在の分布状況等は正確に把握されていない。また街の開発に伴い、残っている石垣も次々と姿を消しつつある。そこで、それらの石垣を今後維持・管理していくために、大村市において未調査である武家屋敷街地区内54箇所の現地調査を平成11年10月に実施し、石垣の長さ・高さ・表面積の測定、外観のスケッチ、および写真撮影を行った。それらの調査結果を調査カードにまとめ、石垣群の現状把握と維持管理のための「大村武家屋敷街石垣調査報告書－外浦地区～久原地区－」を作成した。調査報告書は、「調査対象位置図」・「調査対象リスト」・「調査カード」から構成されている。図-1に調査カードを示す。

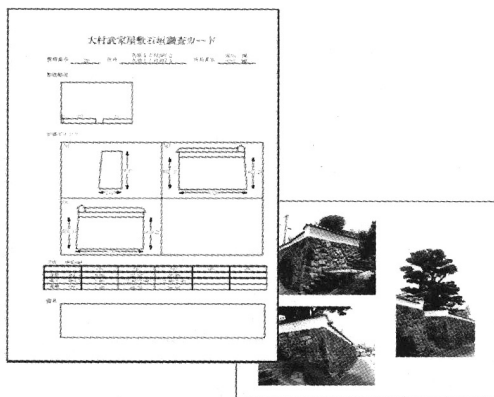


図-1 調査カード

3. 大村武家屋敷街石垣画像データベースの作成

「大村武家屋敷街石垣調査報告書－外浦地区～久原地区－」のPDF形式へのデジタル化を行い、撮影した写真等はスキャナーで取り込み、画像データベースの開発を行った。調査報告書の画像データベース化には、Acrobat Exchange4.0J (Adobe社)を用いた。検索方法としては、①調査対象位置図②調査対象リストがあり、それぞれリンクを設け、それらをクリックすることで検索結果が閲覧できるようにした。調査報告書はCD-ROMに収録し、それによりコンパクトに保存・管理でき、効果的に閲覧できるようになった。図-2に調査報告書の画像データベースの構成を示す。図-3に調査対象位置図画

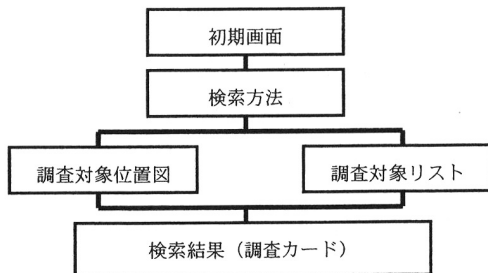


図-2 大村武家屋敷街石垣画像データベースの構成

Figure 1 consists of three parts: a map, a table, and photographs.

The map on the left shows the location of the site in the vicinity of '久蔵一丁目' (Kuzou 1-chome). The map includes street names and building footprints.

The table in the center is titled '武蔵国松戸藩蔵 調査対象リスト' (List of Surveyed Sites in Musashi Koshu Domain). It lists the following sites:

№	名称	位置	面積	備考
1	久蔵一丁目	久蔵一丁目	1,000㎡	
2	久蔵二丁目	久蔵二丁目	1,000㎡	
3	久蔵三丁目	久蔵三丁目	1,000㎡	
4	久蔵四丁目	久蔵四丁目	1,000㎡	
5	久蔵五丁目	久蔵五丁目	1,000㎡	
6	久蔵六丁目	久蔵六丁目	1,000㎡	
7	久蔵七丁目	久蔵七丁目	1,000㎡	
8	久蔵八丁目	久蔵八丁目	1,000㎡	
9	久蔵九丁目	久蔵九丁目	1,000㎡	
10	久蔵十丁目	久蔵十丁目	1,000㎡	
11	久蔵十一丁目	久蔵十一丁目	1,000㎡	
12	久蔵十二丁目	久蔵十二丁目	1,000㎡	
13	久蔵十三丁目	久蔵十三丁目	1,000㎡	
14	久蔵十四丁目	久蔵十四丁目	1,000㎡	
15	久蔵十五丁目	久蔵十五丁目	1,000㎡	
16	久蔵十六丁目	久蔵十六丁目	1,000㎡	
17	久蔵十七丁目	久蔵十七丁目	1,000㎡	
18	久蔵十八丁目	久蔵十八丁目	1,000㎡	
19	久蔵十九丁目	久蔵十九丁目	1,000㎡	
20	久蔵二十丁目	久蔵二十丁目	1,000㎡	

The photographs on the right show the site's location and the stone monument. The top photograph shows the site's location in the vicinity of '久蔵一丁目'. The bottom photograph shows the stone monument.

図-5 検索結果画面

「大村武家屋敷石垣調査報告書－外浦地区～久原地区－」に加えて、長崎県建築士会大村支部が以前調査を行なった際に作成した調査報告書「歴史のまちづくり 基礎調査報告書」をデジタル化した⁽³⁾。さらに、これらを１つにまとめ、画像データベースを作成した。これにより、大村市武家屋敷街全域の主だった石垣の現状を把握することができる。検索方法は、調査対象位置図と報告書別の２つに大きく分かれる。場所で検索する場合は、調査対象位置図で見たい場所を選択する。また、報告書別に閲覧する場合、検索画面で見たい報告書を選択する。図-6 にこの画像データベースの構成を示す。また、報告書別の検索画面を図-7 に示す。

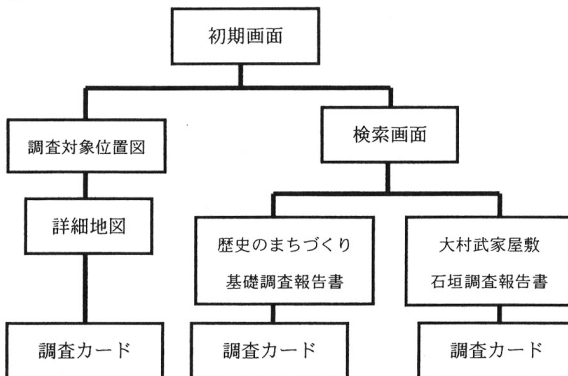


図-7 検索画面

本研究では、長崎県大村市の武家屋敷街未調査地区の石垣を調査し、調査報告書の作成とそのデジタル化を行った。また、長崎県建築士会の大村支部が以前調査を行なった際に作成した調査報告書をデジタル化し、これら2つをまとめて大村武家屋敷街全域における主だった石垣の調査報告書画像データベースの作成を行った。研究の成果を要約すると次のようになる。(1) 今まで把握されていなかった大村武家屋敷街地区の報告書の作成により、武家屋敷街の分布状況が見て取れる。(2) 今までの報告書は紙であった為に必要な情報が探しづらかったが、既存していた調査報告書と今回本研究で作成した報告書を1つにまとめデジタル化することで、容易に検索ができるようになり、今後の大村武家屋敷街の維持・管理をしていく上で有効なものとなった。また、それらをCD-ROMに収録することで、コンパクトに保存・管理でき、様々な環境のコンピュータで容易に閲覧できるようになった。

—659—